

# 【速報】<sup>はちす</sup>蓮ダム 洪水調節効果(令和5年台風第7号)

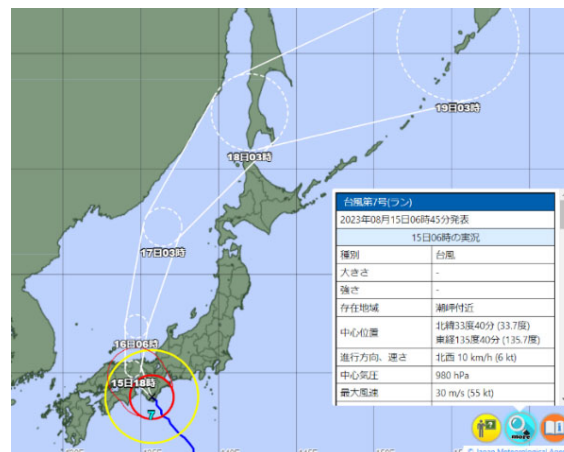
※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります。

○8月15日に和歌山県に上陸した台風第7号の影響により、中部・近畿・中国地方を中心に非常に激しい降雨をもたらし、各地で記録的な豪雨となりました。

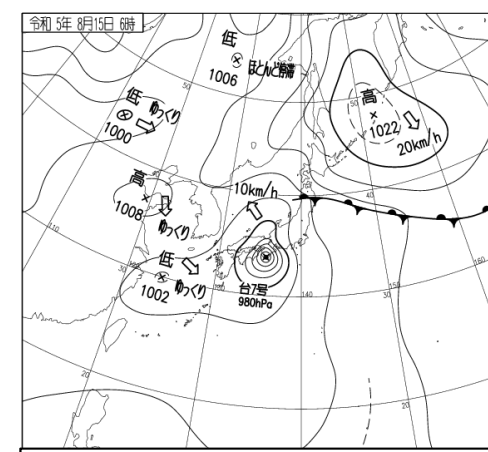
○蓮ダム流域では、**流域平均累加雨量が約520mmを記録し、例年8月の総雨量の130%に相当する降雨を観測しました。**



位置図

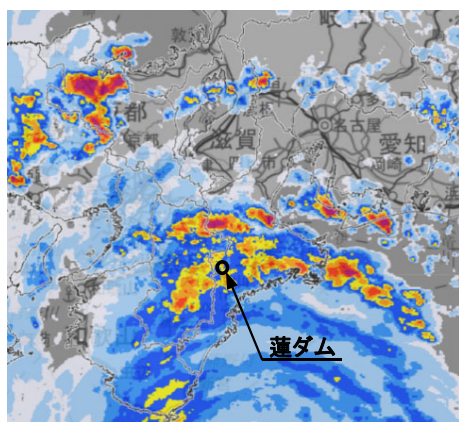


台風経路図(8月15日6時00分)

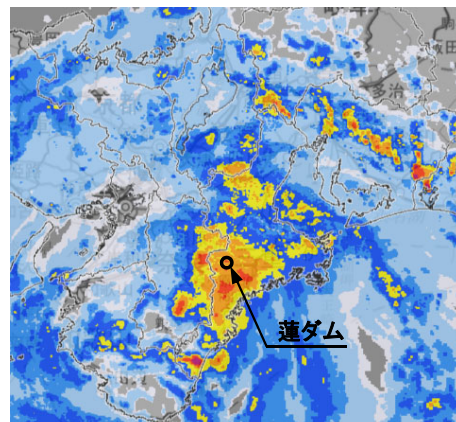


天気図(8月15日6時00分)

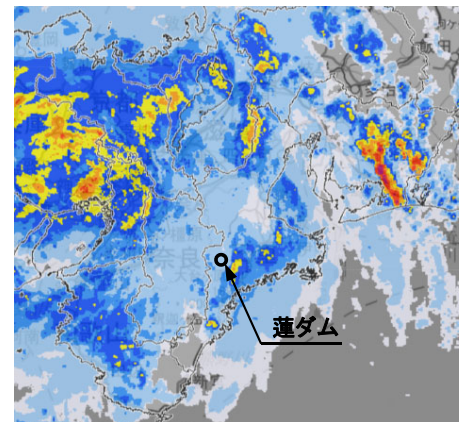
レーダー雨量



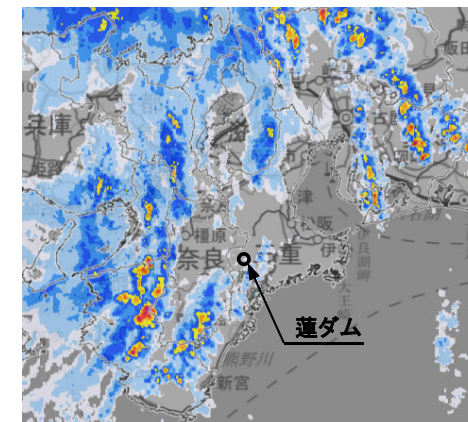
8月15日0時00分



8月15日6時00分



8月15日12時00分



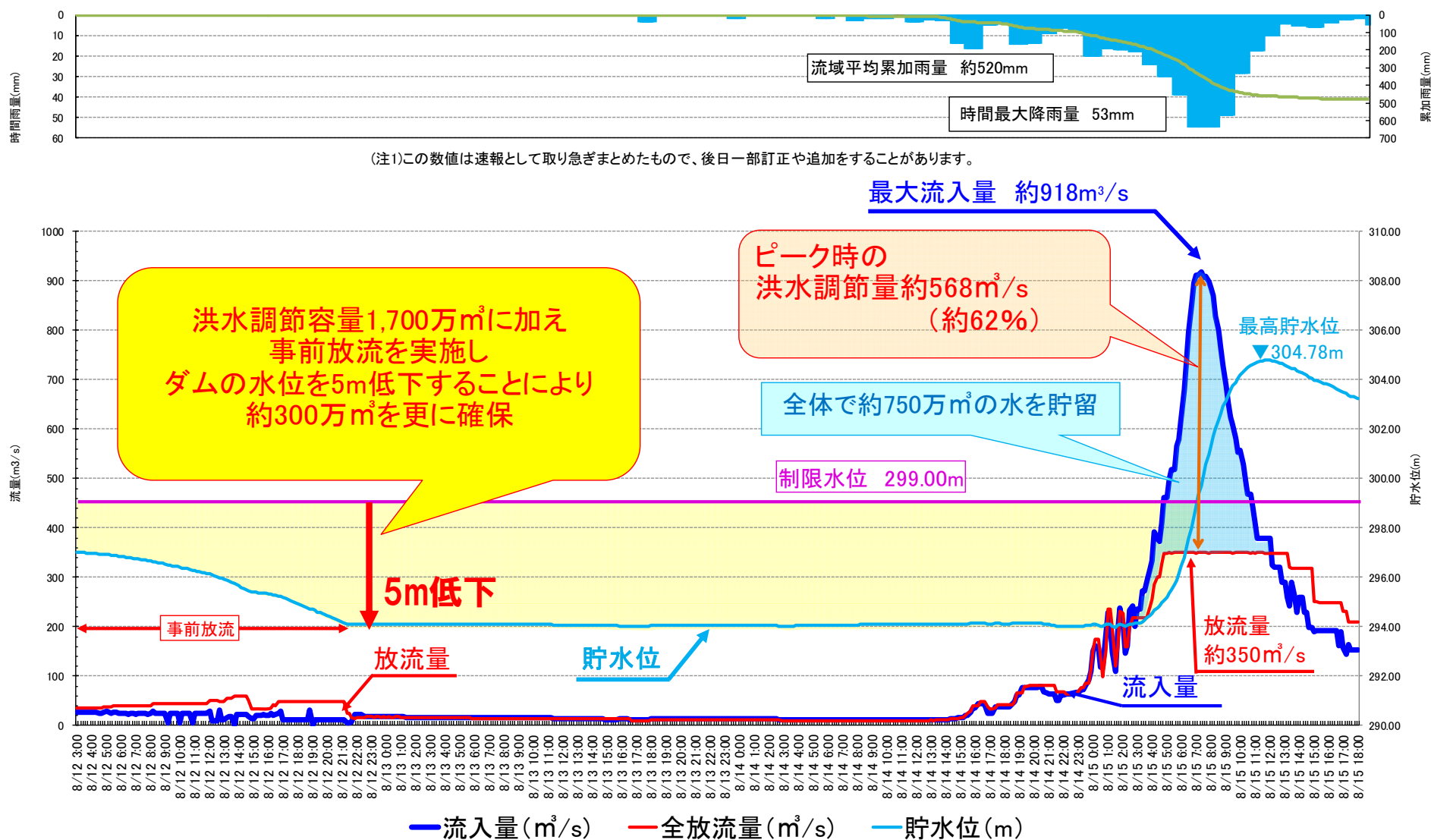
8月15日17時00分

出典:気象庁ウェブサイト

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります。

- 台風第7号による大雨の影響により、連ダムでは**最大流入量約918 $\text{m}^3/\text{s}$** を観測しましたが、防災操作(洪水調節)を実施しダムに洪水を貯留したことから、下流へ流れる洪水の量を最大で約568 $\text{m}^3/\text{s}$ 、流入量の約62%抑え、約350 $\text{m}^3/\text{s}$ に低減しました。
- 洪水調節容量1700万 $\text{m}^3$ に加え、事前放流を実施しダムの水位を5m低下することにより、さらに約300万 $\text{m}^3$ を確保し、計2000万 $\text{m}^3$ の容量を確保しました。

令和5年8月 台風第7号における連ダムの防災操作状況 2023/8/12 3:00 から 2023/8/15 18:00 まで



【速報】<sup>はちす</sup>連ダム 洪水調節効果(令和5年台風第7号)

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

- 台風第7号の影響により、8月14日の降り始めから8月15日までの降水量は、連ダム流域平均累加雨量約520mmを記録しました。
- 連ダムでの防災操作の実施により、ダムがない場合と比較して、櫛田川の水位は、<sup>りょうぐん</sup>両郡地点(河口から14.35km)で約0.71m低下させ、避難指示発令の目安となる<sup>たひき</sup>氾濫危険水位の超過を回避し、田引地点(河口から58.0km)で約1.45m低下したものと推定されます。

蓮ダム貯水位状況



貯水位: EL:294.07m

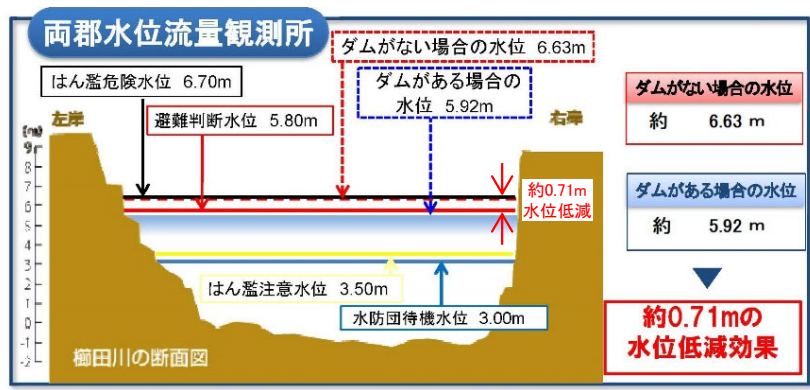
R5. 8. 13 12時00分時点  
(事前放流実施後)



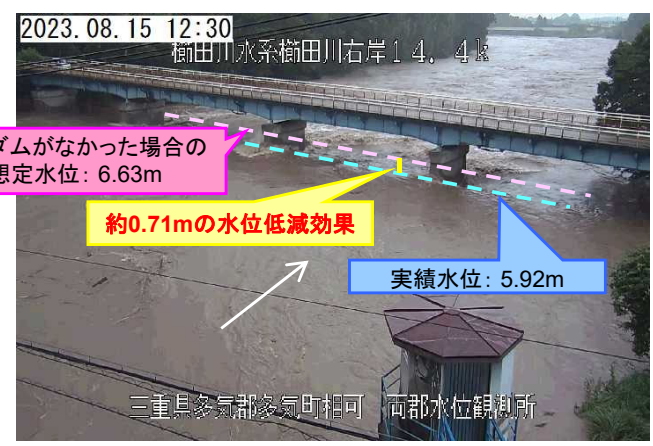
貯水位 EL:304.78m

R5. 8. 15 12時00分時点  
(最高水位時)

両郡水位観測所地点の水位低減効果

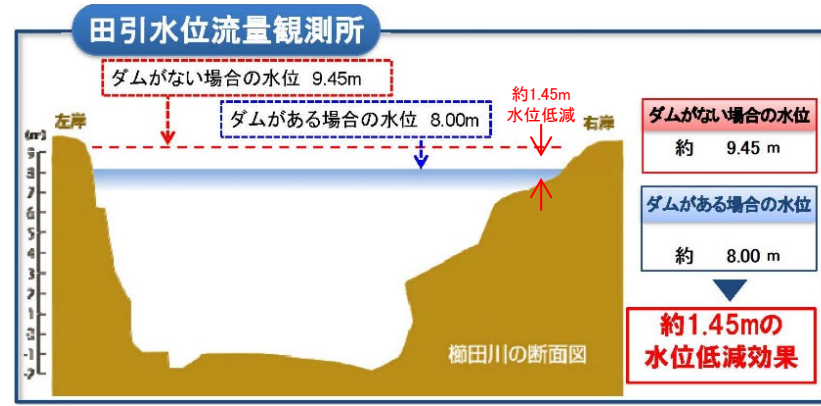


両郡水位出水状況



R5. 8. 15 12時30分時点

田引水位観測所地点の水位低減効果



田引水位状況写真



R5. 8. 15 9時50分時点